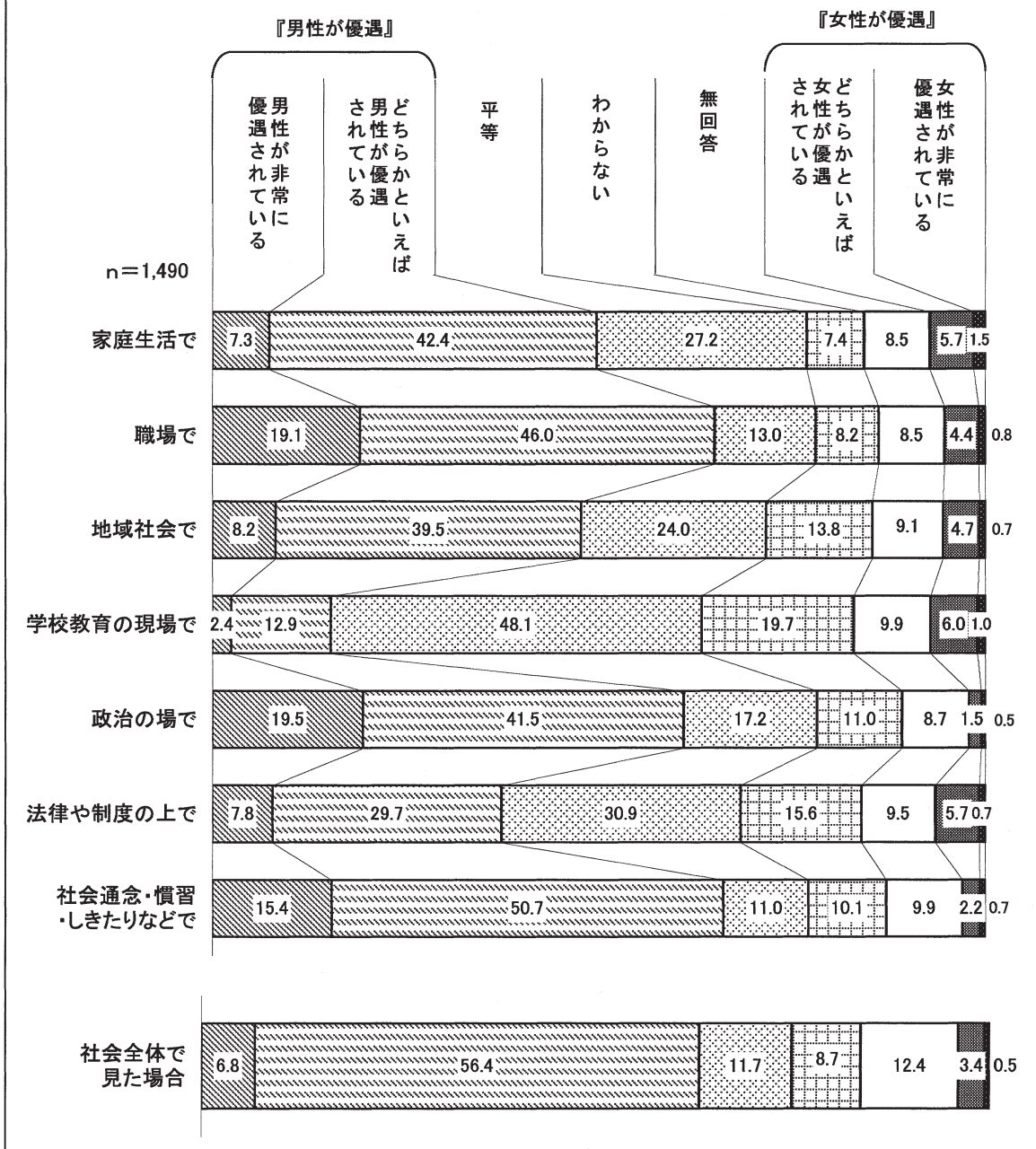


## 2. 男女の地位の平等などについて

### (1) 各分野・社会全体における男女の地位の平等意識

問5 あなたは次にあげる分野で男女の地位は平等になっているとお考えですか。それぞれについてお答えください。(○印はそれぞれ1つ)

【図表5-1 各分野・社会全体における男女の地位の平等意識】



#### ◆「学校教育の現場で」以外では『男性が優遇』されていると強く感じられている

『男性が優遇』（「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた割合）が、「職場」、「政治の場」、「社会通念・慣習・しきたり」で50%を超えている。一方、「学校教育の現場」では、「平等」が多くなっている。

また、社会全体で見た場合は、60%を超える人が『男性が優遇』と回答している。

# ①「家庭生活で」

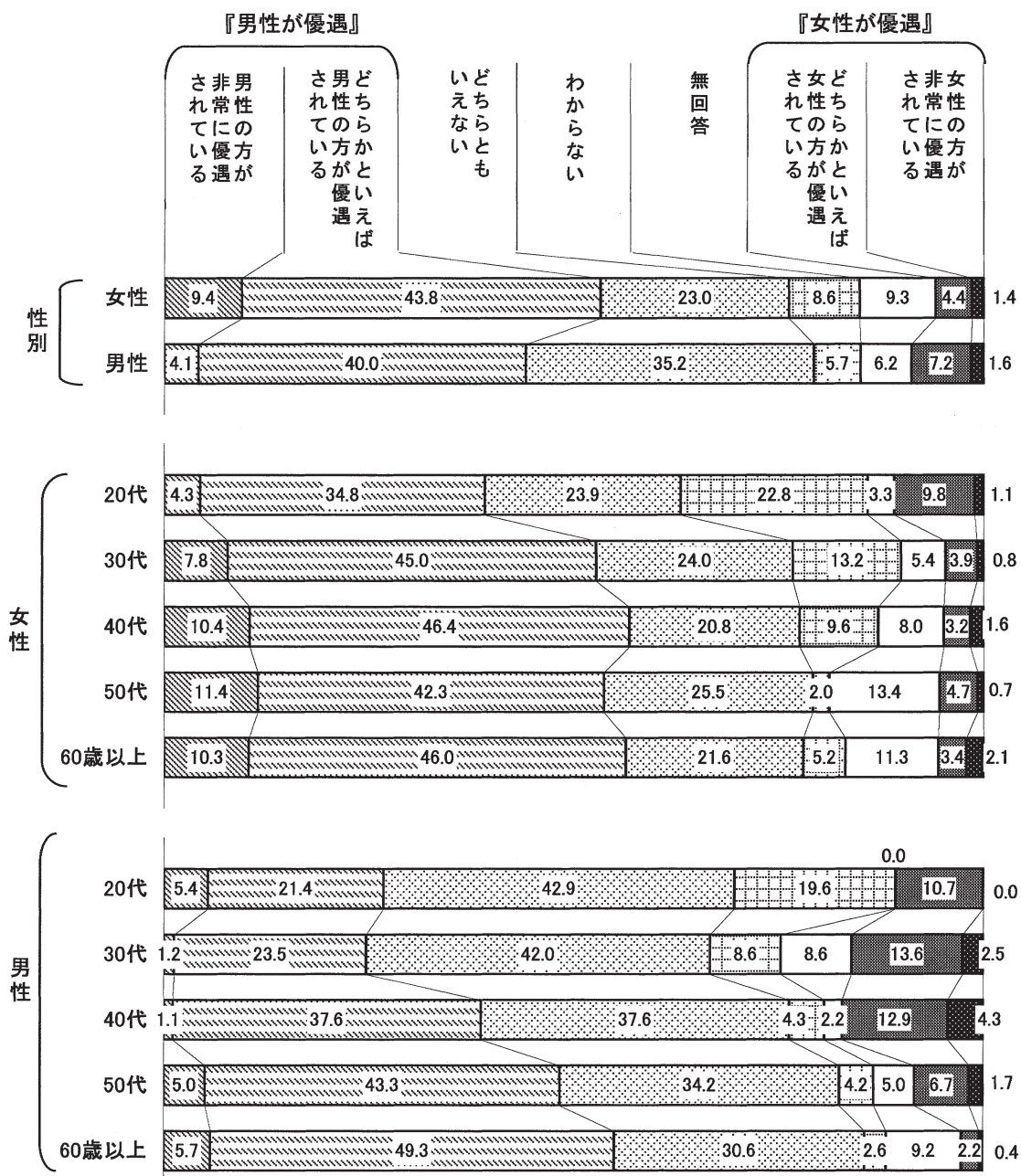
## <性別、性・年齢別>

女性では『男性が優遇』が53.2%となっているが、男性では44.1%となっており、女性が9.1ポイント上回っている。

年齢が上がるにつれて『男性が優遇』の割合が高くなっている。

20代、30代の男性では、『男性が優遇』よりも「平等」が高くなっている。

【図表5-1-1 家庭生活で(性別、性・年齢別)】

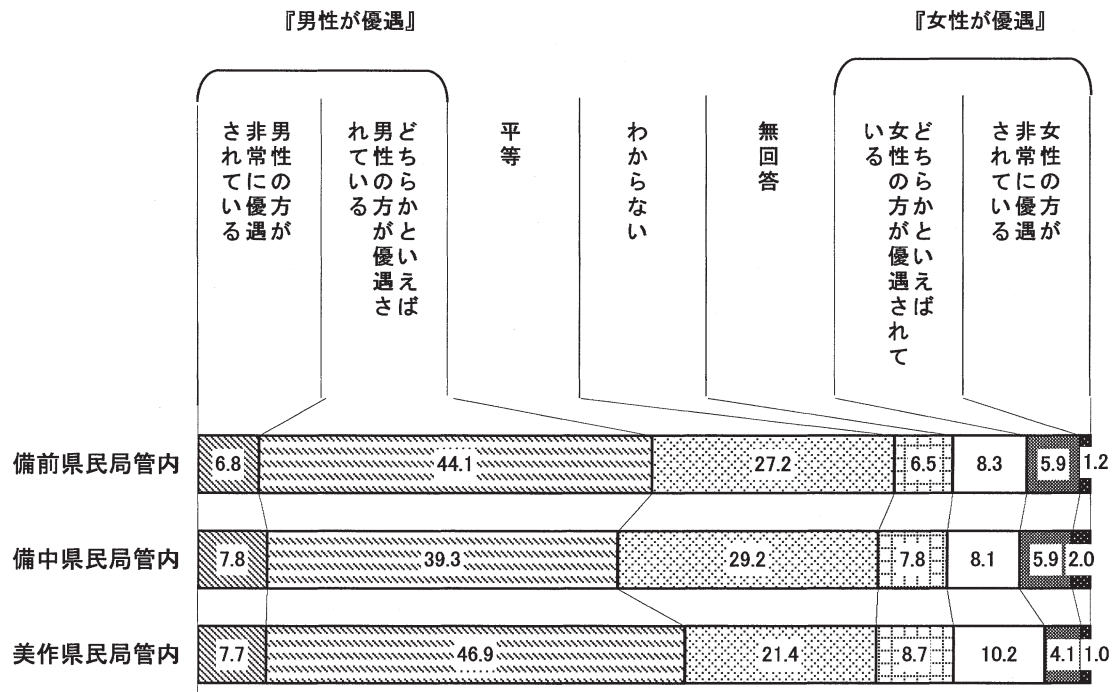


<地域別>

◆いずれの県民局管内も『男性が優遇』が5割程度を占めている

いずれの県民局管内も『男性が優遇』が5割程度を占めている中で、「平等」が多いのは備中県民局管内で29.2%、反対に少ないのは美作県民局管内で、21.4%となっている。

【図表5-1-2 家庭生活で(地域別)】



<前回調査との比較>

H16年調査と比べると、『男性が優遇』は、60.5%から49.7%へと10.8ポイント低下した一方、「平等」は2.0ポイント上昇し、『女性が優遇』も上昇している。

【図表5-1-3 家庭生活で(前回調査との比較)】

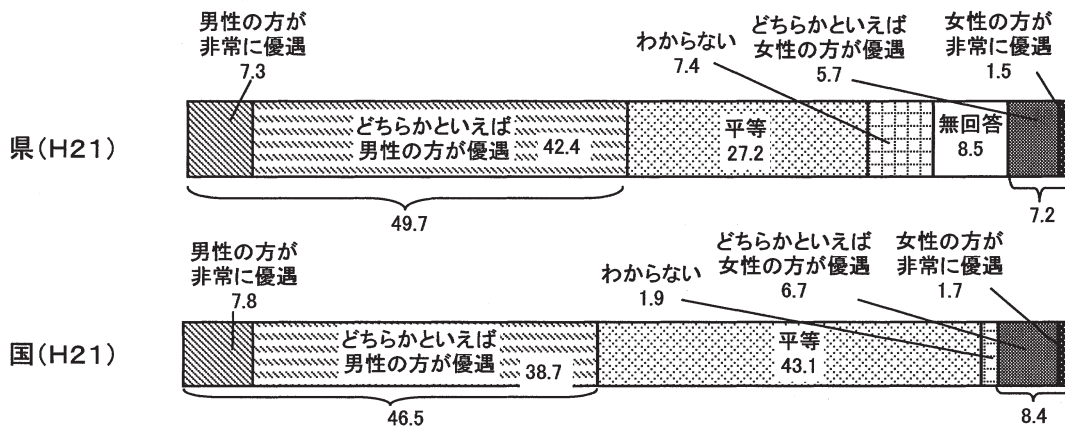
(単位:%)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	わからない	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	男性の方が優遇されている計	女性の方が優遇されている計
H12	15.0	50.1	20.6	6.9	4.2	0.8	65.1	5.0
H16	11.0	49.5	25.2	5.5	5.7	0.9	60.5	6.6
H21	7.3	42.4	27.2	7.4	5.7	1.5	49.7	7.2

<国調査との比較>

H21年の国の調査と比べると、国調査は『男性が優遇』が46.5%、『女性が優遇』が8.4%となっており、『男性が優遇』は県(H21)(49.7%)を3.2ポイント下回っている。一方、『女性が優遇』は県(7.2%)を1.2ポイント上回っている。

【図表5-1-4 家庭生活で(国調査との比較)】



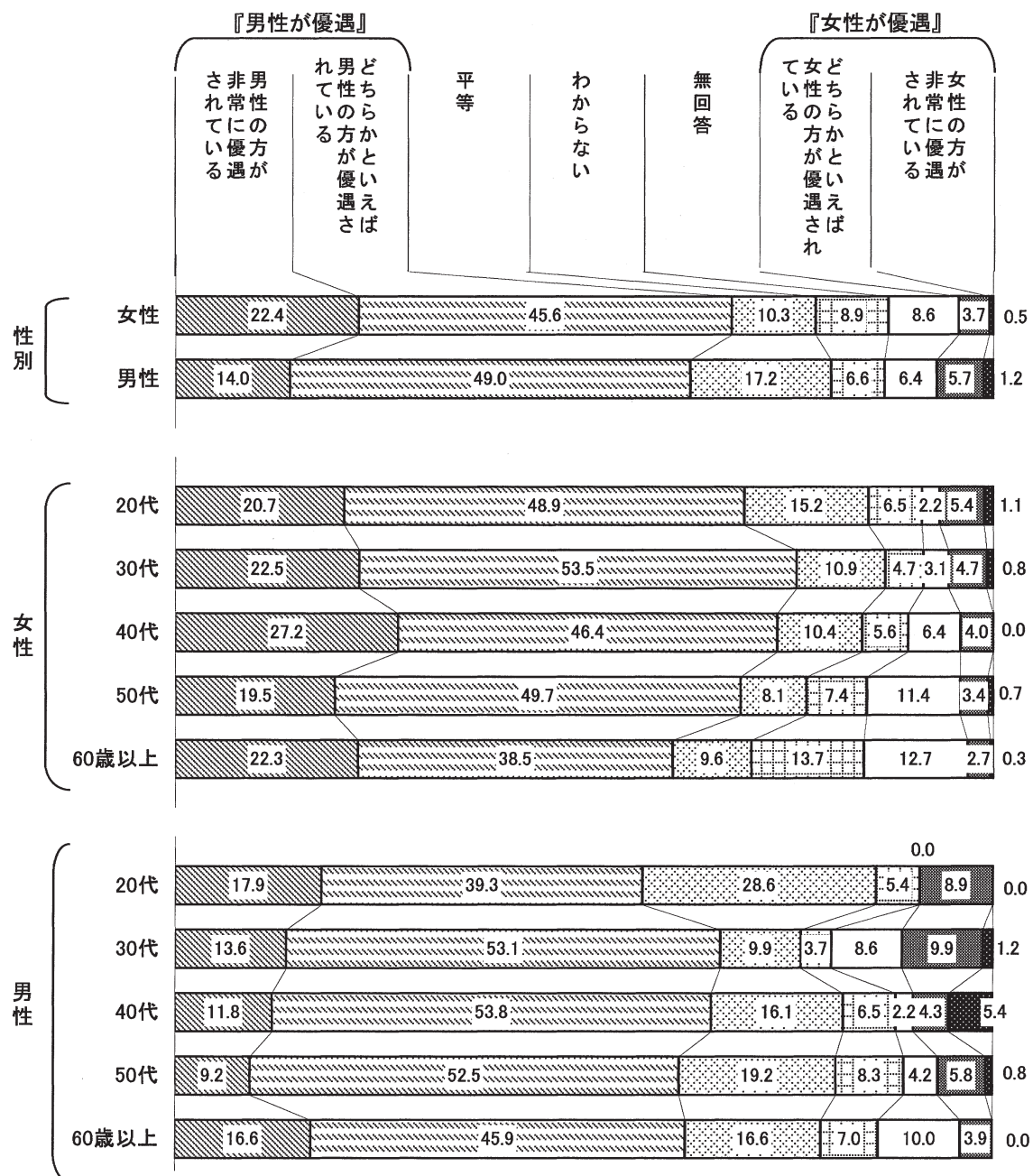
## ②「職場で」

### <性別、性・年齢別>

女性では『男性が優遇』が68.0%となっているが、男性では63.0%となっており、女性が5.0ポイント上回っている。

女性は、30代をピークに年齢が上下するにつれて『男性が優遇』が低下している。男性は各年代とも、ほぼ6割程度となっている。このほか、20代の男性の「平等」の割合が高くなっている。

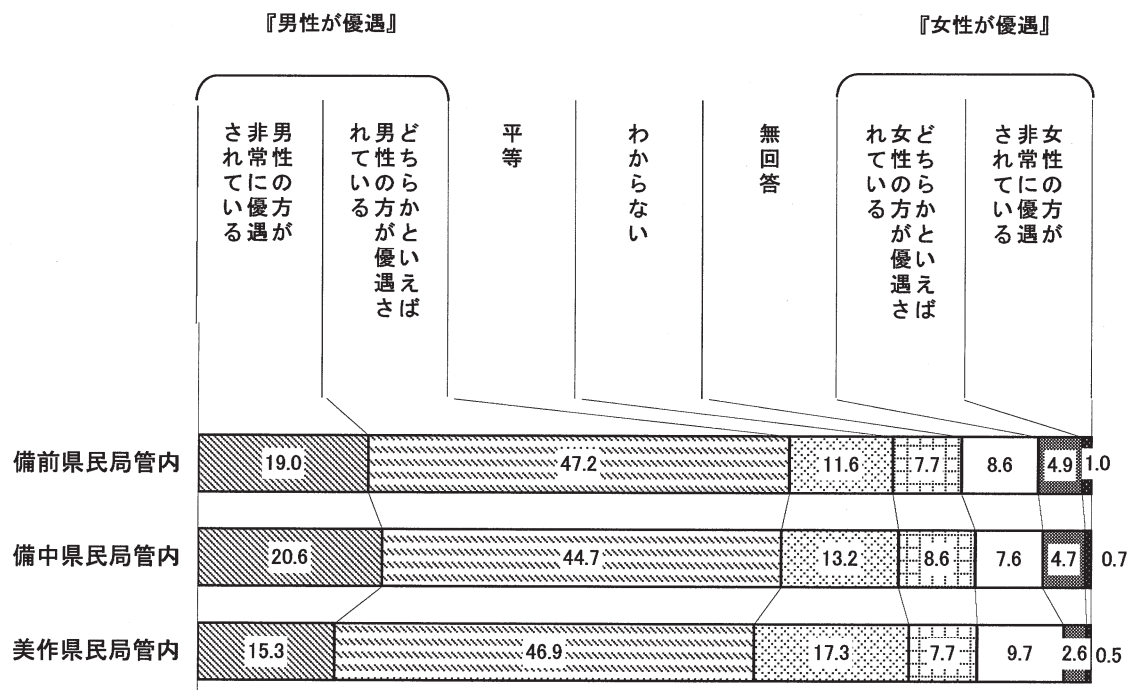
【図表5-2-1 職場で(性別、性・年齢別)】



<地域別>

いずれの県民局管内も『男性が優遇』が6割を超えている中で、「平等」が多いのは美作県民局管内で17.3%、反対に少ないのは備前県民局管内で、11.6%となっている。

【図表5-2-2 職場で(地域別)】



<前回調査との比較>

H16年調査と比べると、『男性が優遇』は、73.4%から65.0%へと8.4ポイント低下した一方、「平等」は2.0ポイント上昇、『女性が優遇』も上昇している。

【図表5-2-3 職場で(前回調査との比較)】

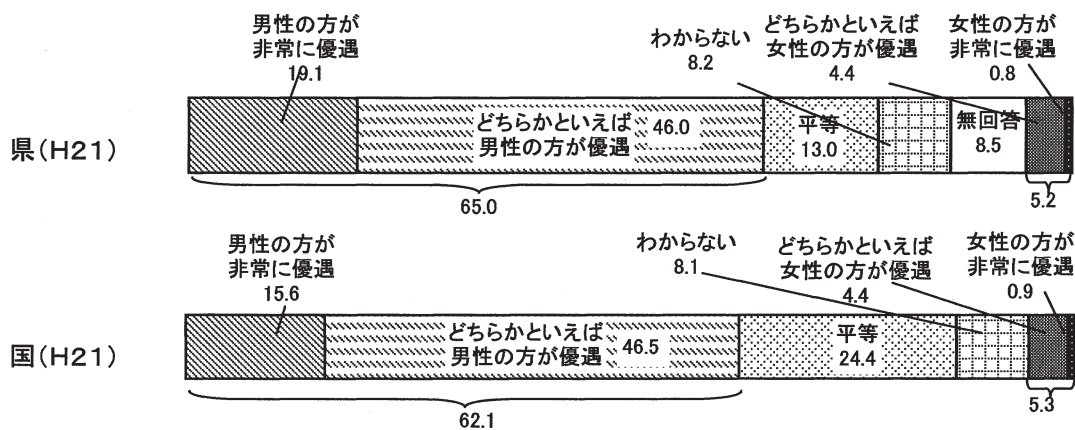
(単位:%)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	わからない	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	男性の方が優遇されている計	女性の方が優遇されている計
H12	25.5	49.4	10.8	6.5	3.6	0.7	74.9	4.3
H16	23.5	49.9	11.0	8.2	3.9	0.3	73.4	4.2
H21	19.1	46.0	13.0	8.2	4.4	0.8	65.0	5.2

<国調査との比較>

H21年の国の調査と比べると、国調査は『男性が優遇』が62.1%、『女性が優遇』が5.3%となっており、『男性が優遇』は県(H21)(65.0%)を2.9ポイント下回っている。一方、『女性が優遇』は県(5.2%)とほぼ同様である。

【図表5-2-4 職場で(国調査との比較)】



### ③「地域社会で」

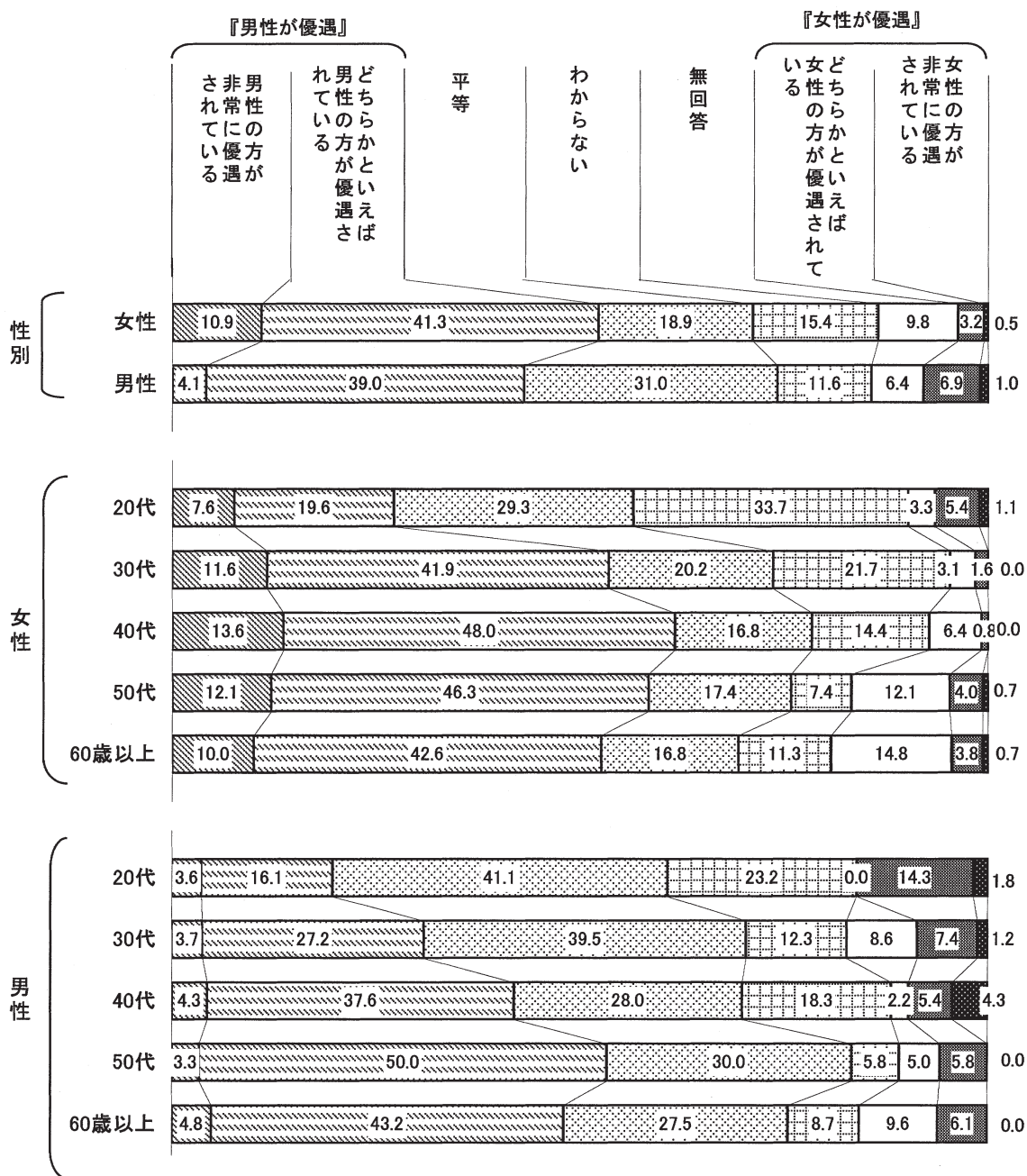
#### <性別、性・年齢別>

女性では『男性が優遇』が52.2%となっているが、男性では43.1%となっており、女性が9.1ポイント上回っている。

男性は60歳以上を除き、年齢が上がるにつれて『男性が優遇』の割合が高くなっていく。女性は、40代をピークに年齢が上下するにつれて『男性が優遇』の割合が低くなっていく。

20代、30代の男性では、『男性が優遇』よりも「平等」の割合が高く、20代女性では、「わからない」が最も高い。

【図表5-3-1 地域社会で(性別、性・年齢別)】

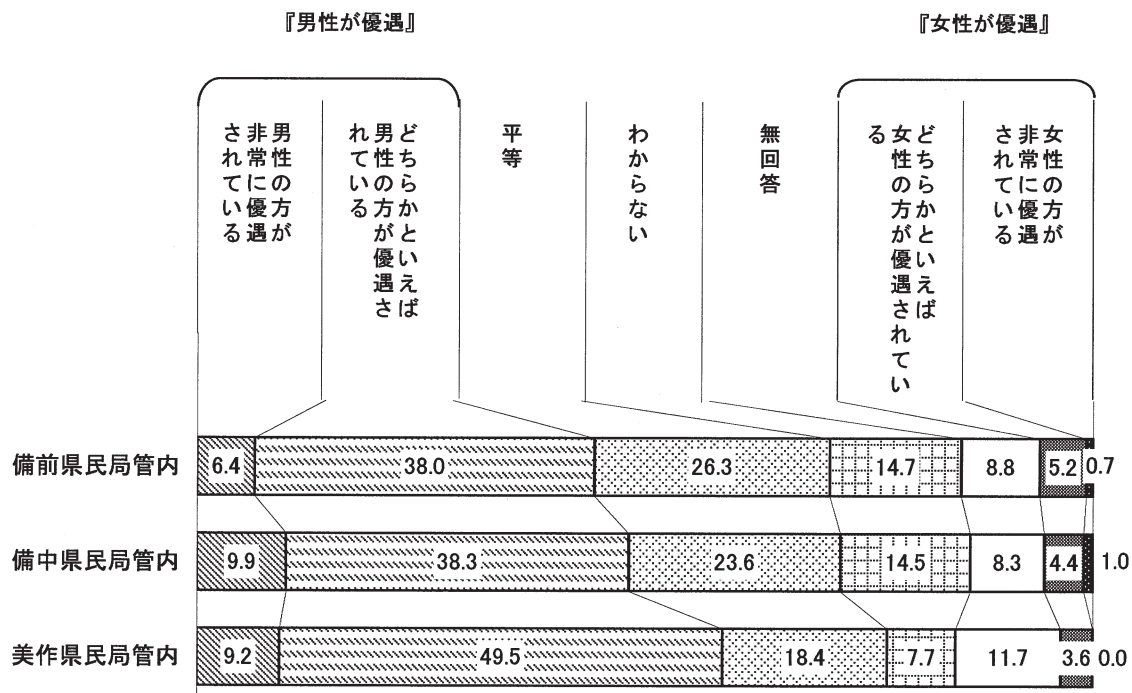




<地域別>

美作県民局管内では『男性が優遇』が58.7%と、備前、備中県民局管内よりも10ポイント以上高くなっている。

【図表5-3-2 地域社会で(地域別)】



＜前回調査との比較＞

H16年調査と比べると、『男性が優遇』は、57.4%から47.7%へと9.7ポイント低下した一方、「平等」は1.9ポイント上昇し、『女性が優遇』は低下した。

【図表5-3-3 地域社会で(前回調査との比較)】

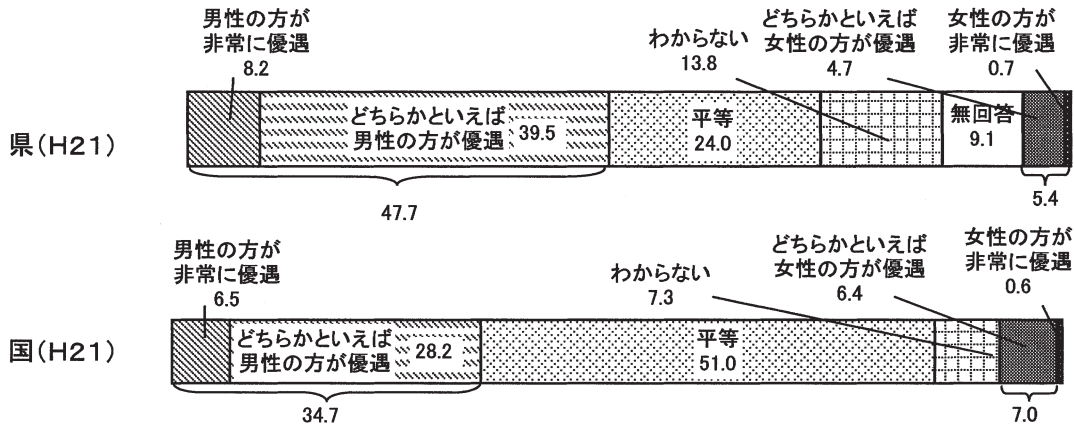
(単位:%)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	わからない	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	男性の方が優遇されている計	女性の方が優遇されている計
H12	13.4	45.0	22.2	10.7	3.8	0.4	58.4	4.2
H16	11.6	45.8	22.1	11.4	4.8	1.0	57.4	5.8
H21	8.2	39.5	24.0	13.8	4.7	0.7	47.7	5.4

＜国調査との比較＞

H21年の国の調査と比べると、国調査は『男性が優遇』が34.7%、『女性が優遇』が7.0%となっており、『男性が優遇』は県(H21) (47.7%)を13.0ポイント下回っている。一方、『女性が優遇』は県(5.4%)を1.6ポイント上回っている。

【図表5-3-4 地域社会で(国調査との比較)】



※国調査では「自治会やNPOなどの地域活動の場」

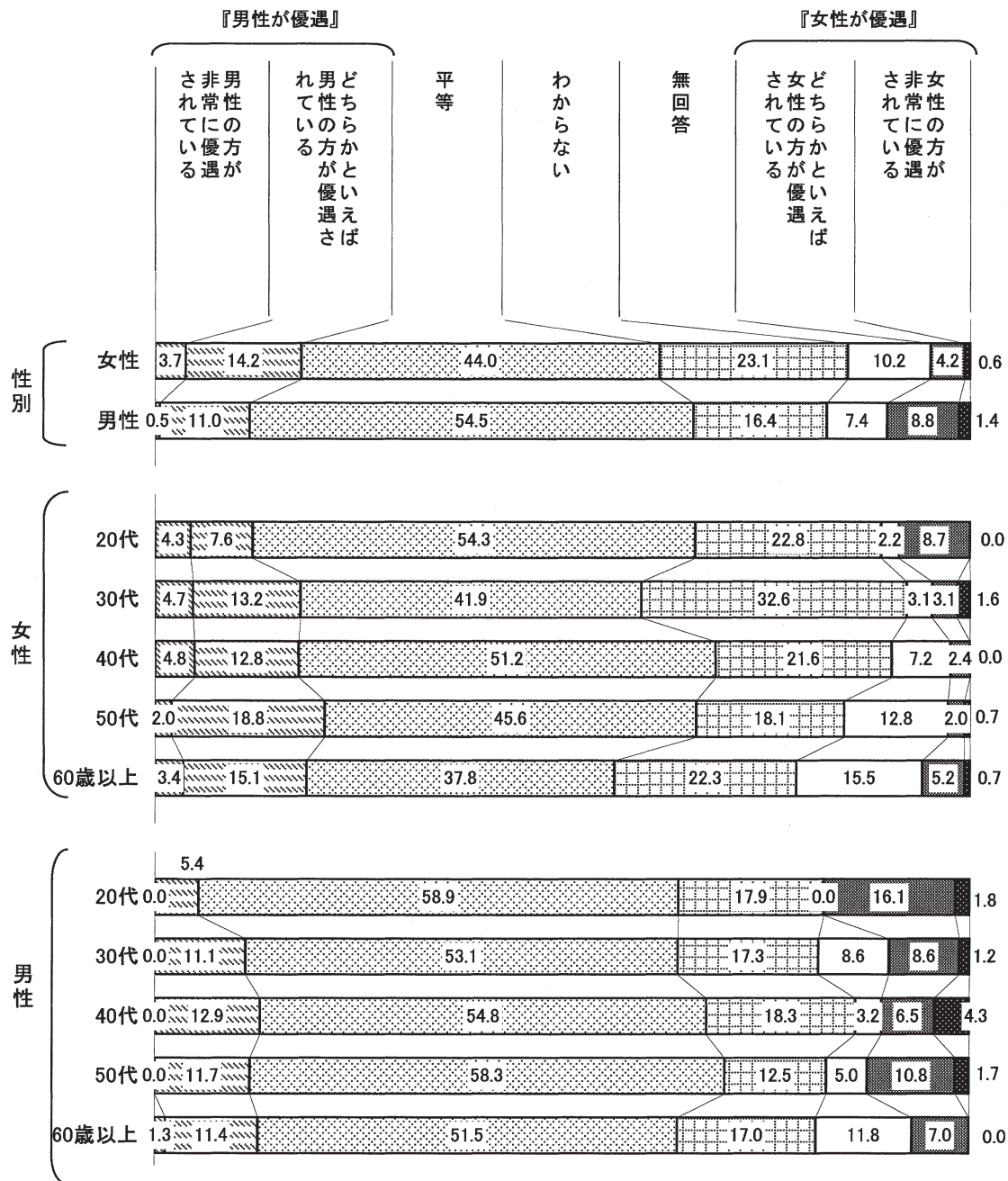
#### ④「学校教育の現場で」

##### <性別、性・年齢別>

女性では「平等」が44.0%となっているが、男性では54.5%となっており、男性が10.5ポイント上回っている。

男性では各年代で「平等」が5割を超えている中、女性では30代、50代、60歳以上では半数に届いていない。

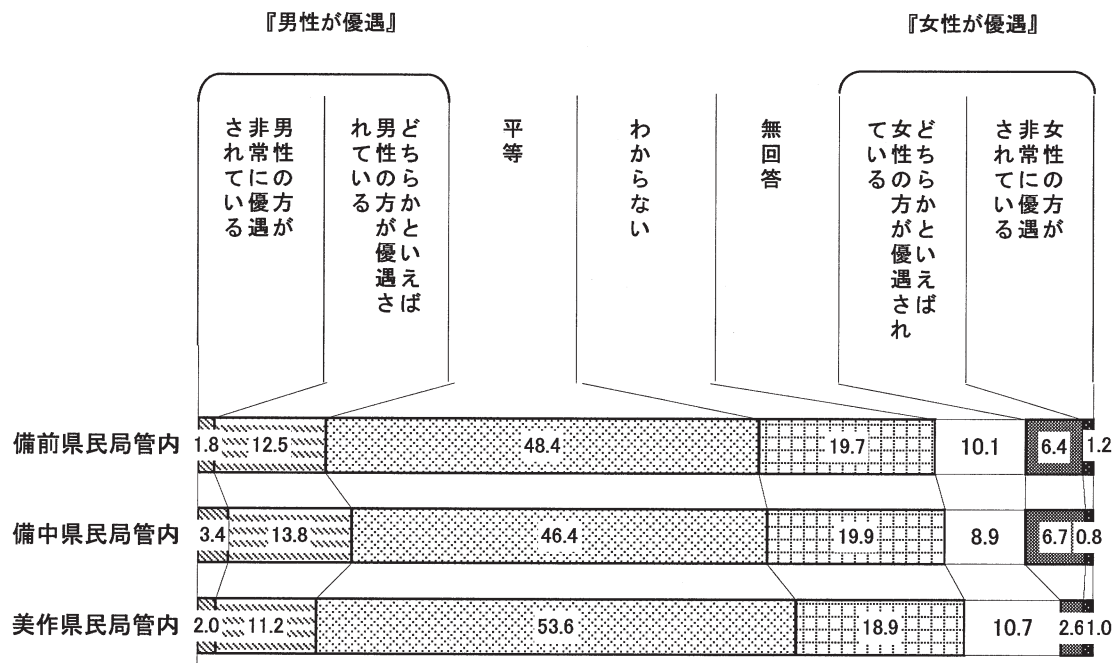
【図表5-4-1 学校教育の現場で(性別、性・年齢別)】



<地域別>

いずれの県民局管内も「平等」が5割程度を占めている中で、美作県民局管内では53.6%と5割を超えている。

【図表5-4-2 学校教育の現場で(地域別)】



<前回調査との比較>

H16年調査と比べると、『男性が優遇』は、20.3%から15.3%へと5.0ポイント低下した一方、「平等」はほぼ横ばい、『女性が優遇』は低下している。

【図表5-4-3 学校教育の現場で(前回調査との比較)】

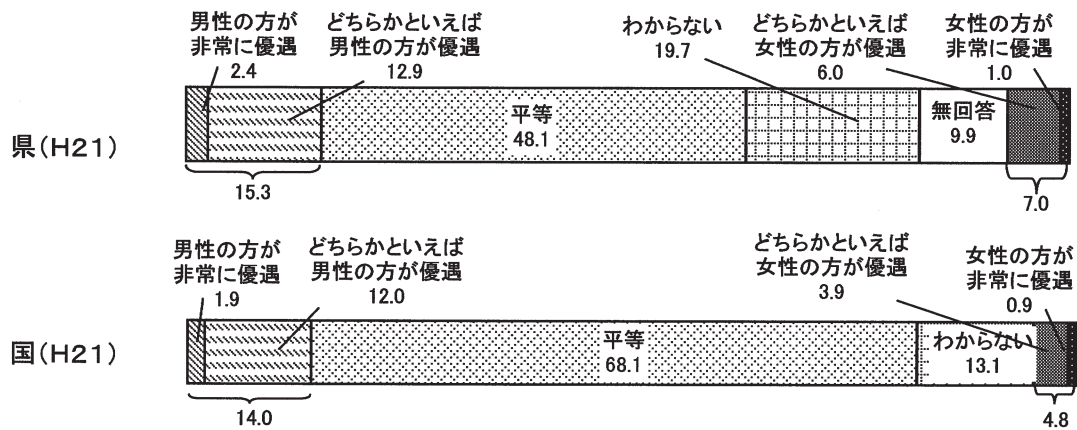
(単位:%)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	わからない	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	男性の方が優遇されている計	女性の方が優遇されている計
H12	3.5	21.5	48.8	14.5	6.2	1.1	25.0	7.3
H16	3.9	16.4	48.5	18.1	7.6	1.6	20.3	9.2
H21	2.4	12.9	48.1	19.7	6.0	1.0	15.3	7.0

<国調査との比較>

H21年の国の調査と比べると、国調査は「平等」68.1%で、県(H21) (48.1%)を20.0ポイント上回っている。

【図表5-4-4 学校教育の現場で(国調査との比較)】



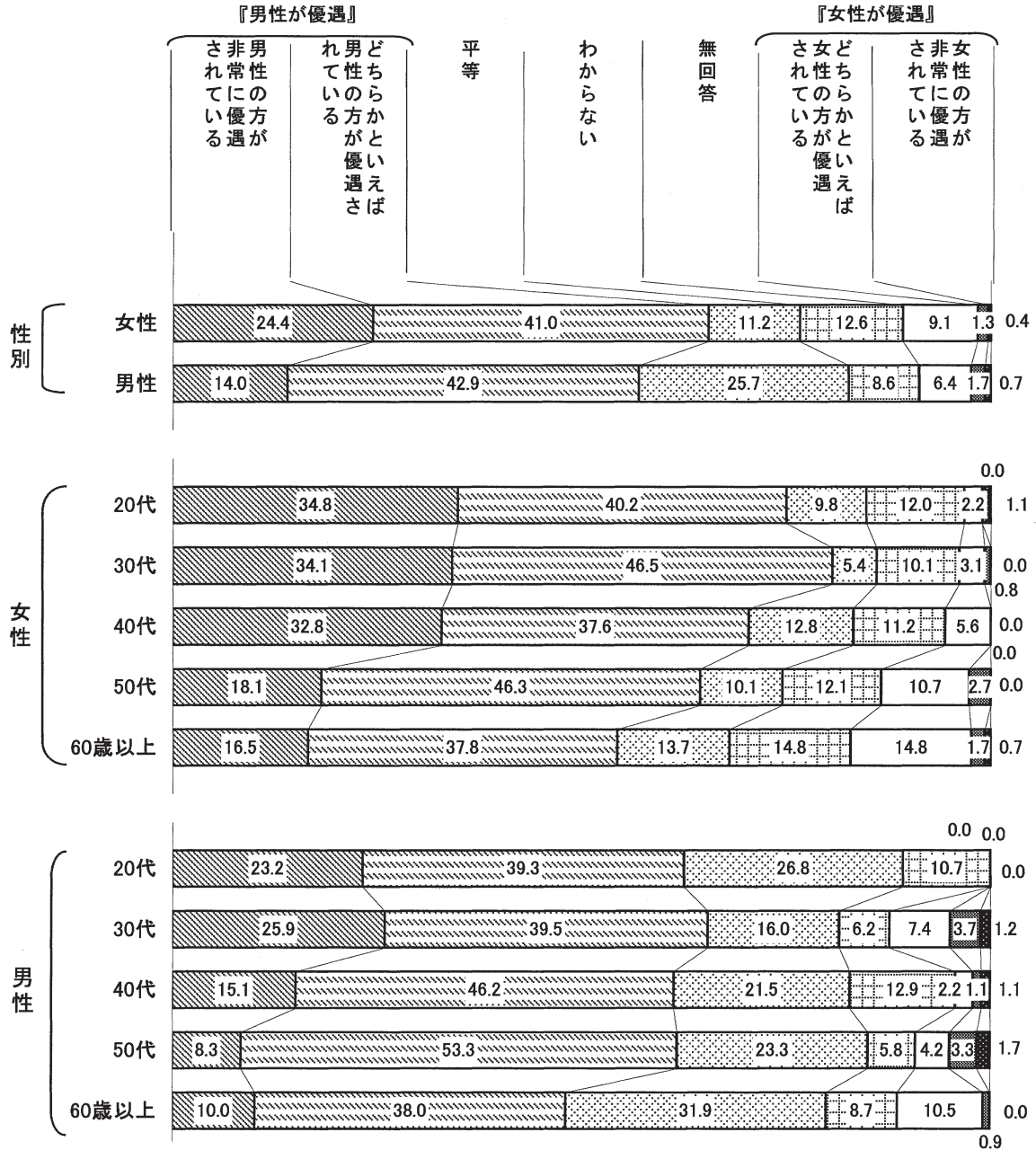
## ⑤「政治の場で」

### <性別、性・年齢別>

女性では『男性が優遇』が65.4%となっているが、男性では56.9%となっており、女性が8.5ポイント上回っている。

男女ともに20代を除き、年齢が上がるにつれて『男性が優遇』の割合が低くなっている。20代と30代では、大きな差異はみられない。

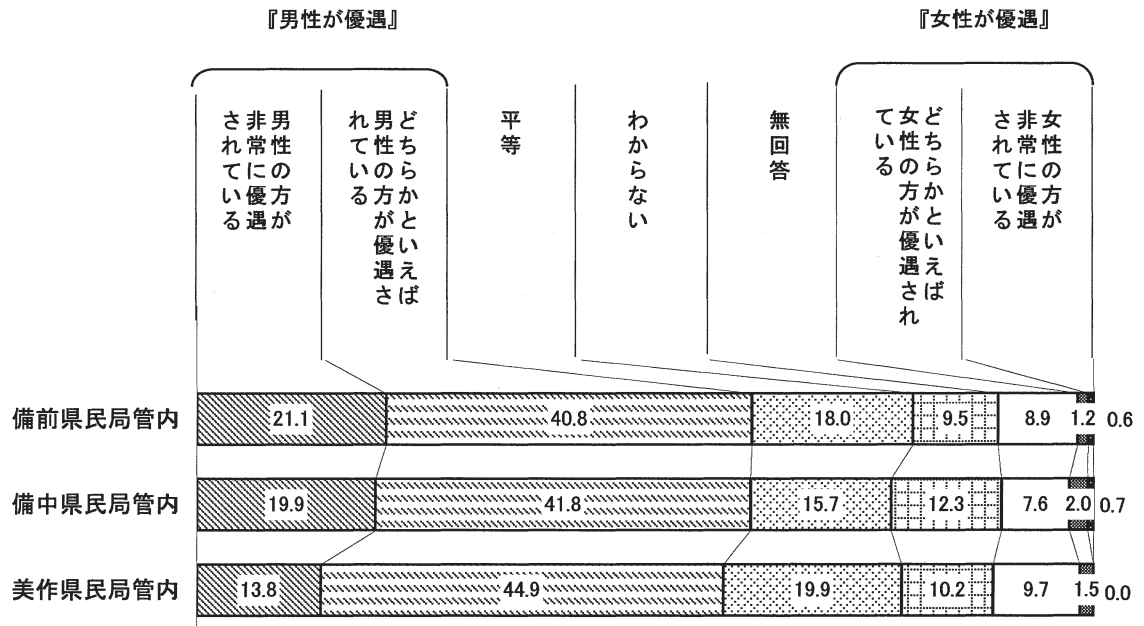
【図表5-5-1 政治の場で(性別、性・年齢別)】



<地域別>

いずれの県民局管内も『男性が優遇』が6割程度を占めており、大きな差異はみられない。

【図表5-5-2 政治の場で(地域別)】



<前回調査との比較>

H16年調査と比べると、『男性が優遇』は、74.9%から61.0%へと13.9ポイント低下した一方、「平等」は6.3ポイント上昇、『女性が優遇』は、ほぼ横ばいとなっている。

【図表5-5-3 政治の場で(前回調査との比較)】

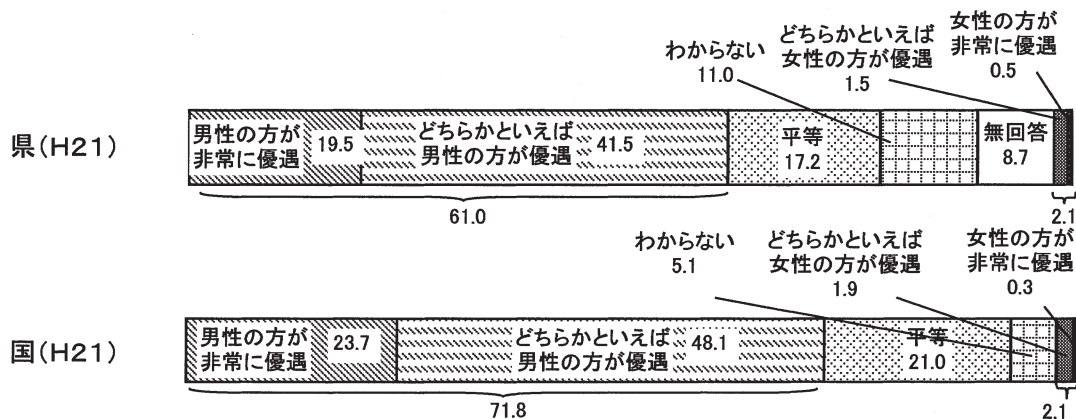
(単位:%)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	わからない	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	男性の方が優遇されている計	女性の方が優遇されている計
H12	30.8	41.3	14.8	7.9	1.2	0.1	72.1	1.3
H16	32.1	42.8	10.9	10.0	1.0	0.1	74.9	1.1
H21	19.5	41.5	17.2	11.0	1.5	0.5	61.0	2.1

<国調査との比較>

H21年の国の調査と比べると、国調査では、『男性が優遇』が71.8%で、県(H21)(61.0%)を10.8ポイント上回っている。

【図表5-5-4 政治の場で(国調査との比較)】





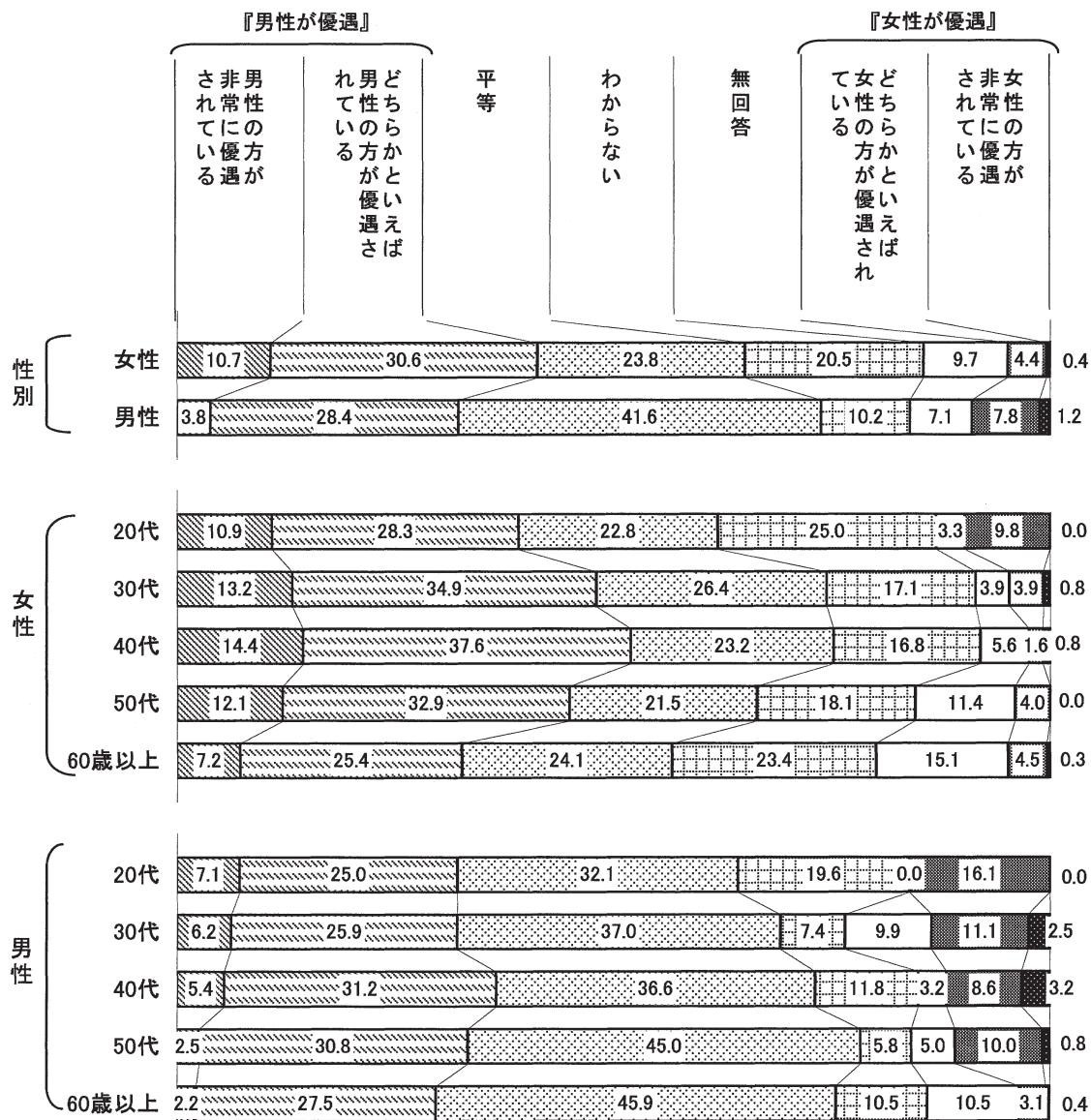
## ⑥「法律や制度の上で」

### <性別、性・年齢別>

女性では『男性が優遇』が41.3%となっているが、男性では32.2%となっており、女性が9.1ポイント上回っている。一方、男性では「平等」が41.6%となっているが、女性では23.8%となっており、男性が17.8ポイント上回っている。

女性では、40代をピークに年齢が上下するにつれ、『男性が優遇』の割合が低下している。一方、男性では年齢が上がるにつれて「平等」の割合が高くなっている。

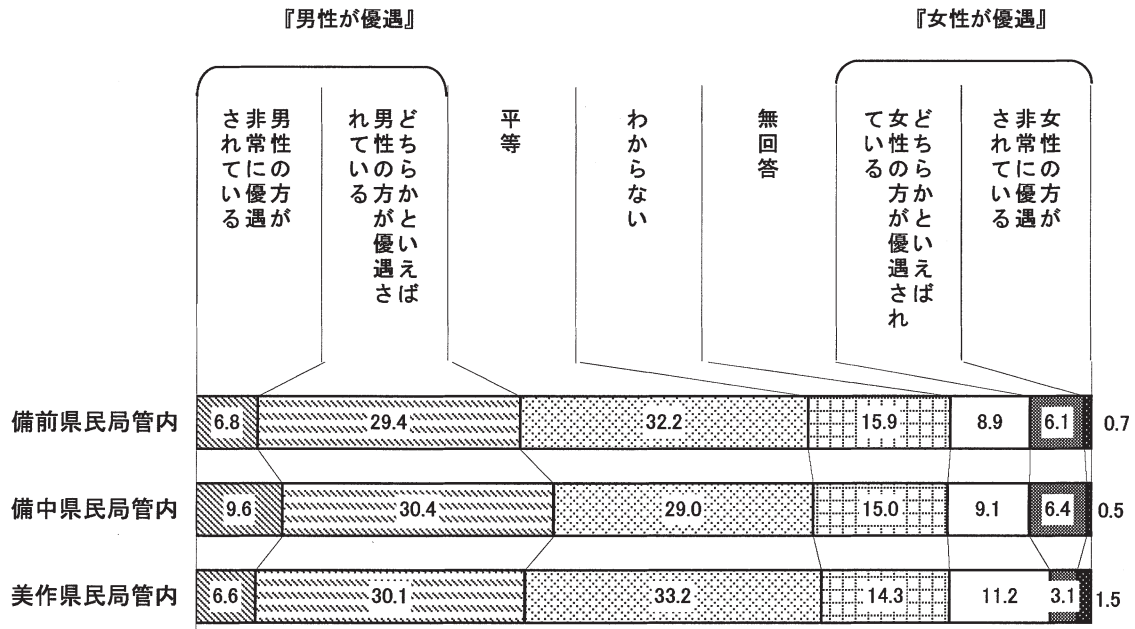
【図表5-6-1 法律や制度の上で(性別、性・年齢別)】



<地域別>

備中県民局管内では、『男性が優遇』が40.0%、「平等」が29.0%で11.0ポイントの差がみられる一方、備前、美作県民局管内では4ポイント程度の差にとどまっている。

【図表5-6-2 法律や制度の上で(地域別)】



<前回調査との比較>

H16年調査と比べると、『男性が優遇』の割合は、47.7%から37.4%へと10.3ポイント低下した一方、「平等」は4.1ポイント上昇、『女性が優遇』はほぼ横ばいとなっている。

【図表5-6-3 法律や制度の上で(前回調査との比較)】

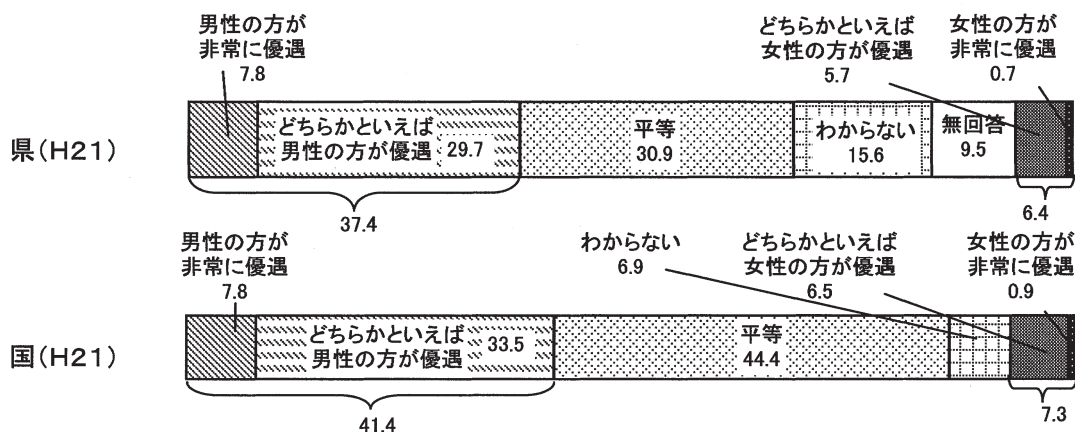
(単位:%)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	わからない	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	男性の方が優遇されている計	女性の方が優遇されている計
H12	12.4	33.7	31.7	12.6	4.2	0.8	46.1	5.0
H16	14.0	33.7	26.8	16.3	5.3	0.8	47.7	6.1
H21	7.8	29.7	30.9	15.6	5.7	0.7	37.4	6.4

<国調査との比較>

H21年の国の調査と比べると、国調査では、「平等」が44.4%で、県(H21)を13.5ポイント上回るとともに、『男性が優遇』は41.4%で、県(H21)(37.4%)を4.0ポイント上回っている。

【図表5-6-4 法律や制度の上で(国調査との比較)】



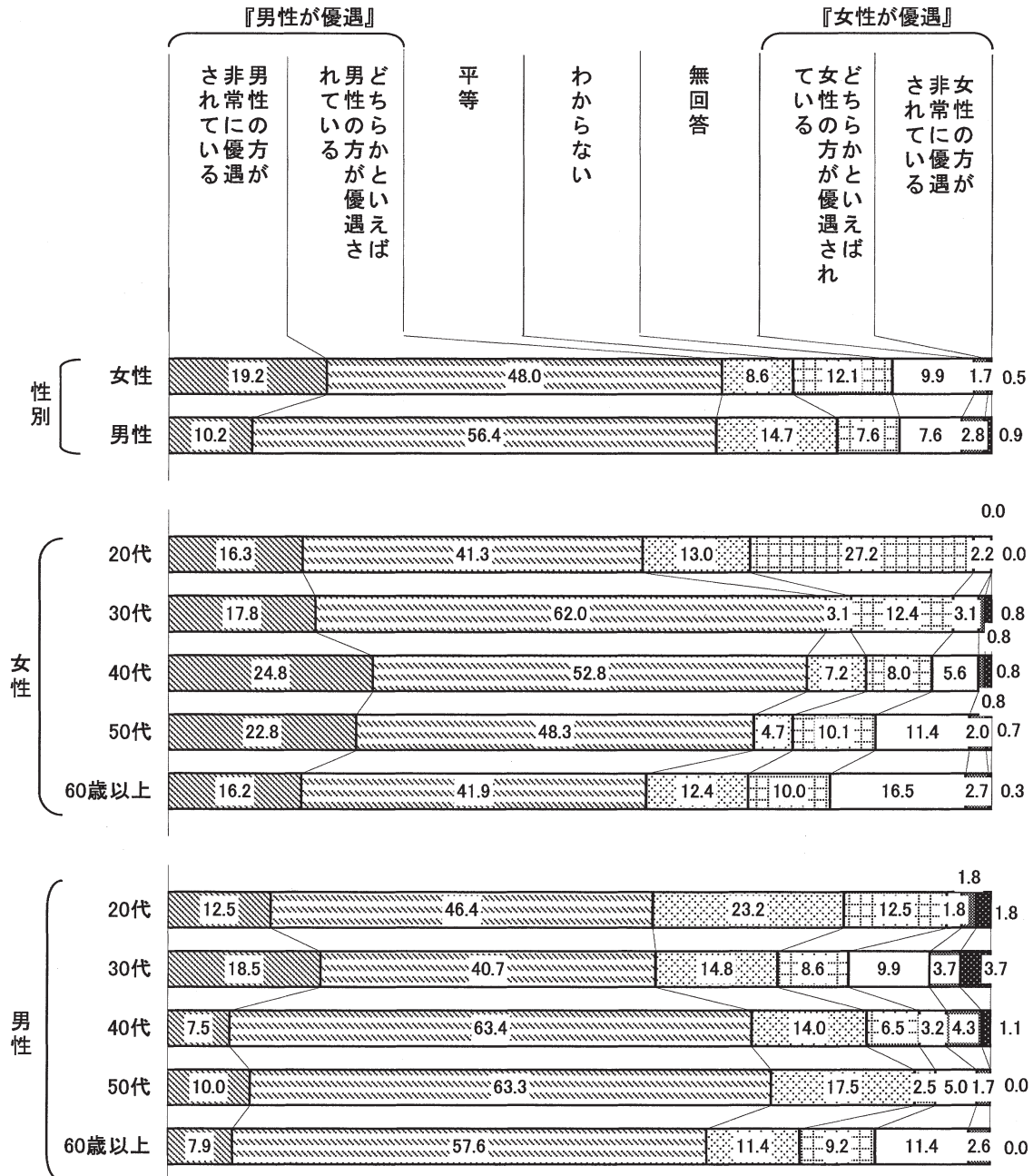
⑦「社会通念・慣習・しきたりなどで」

<性別、性・年齢別>

女性では『男性が優遇』が67.2%となっているが、男性では66.6%となっており、性別による差異はほとんどみられない。

女性では30代、40代で『男性が優遇』が8割近くになる一方、20代では6割に満たないように年代によってばらつきがみられる。男性も同様に、40代、50代では7割を超える一方、20代、30代では6割に満たない。

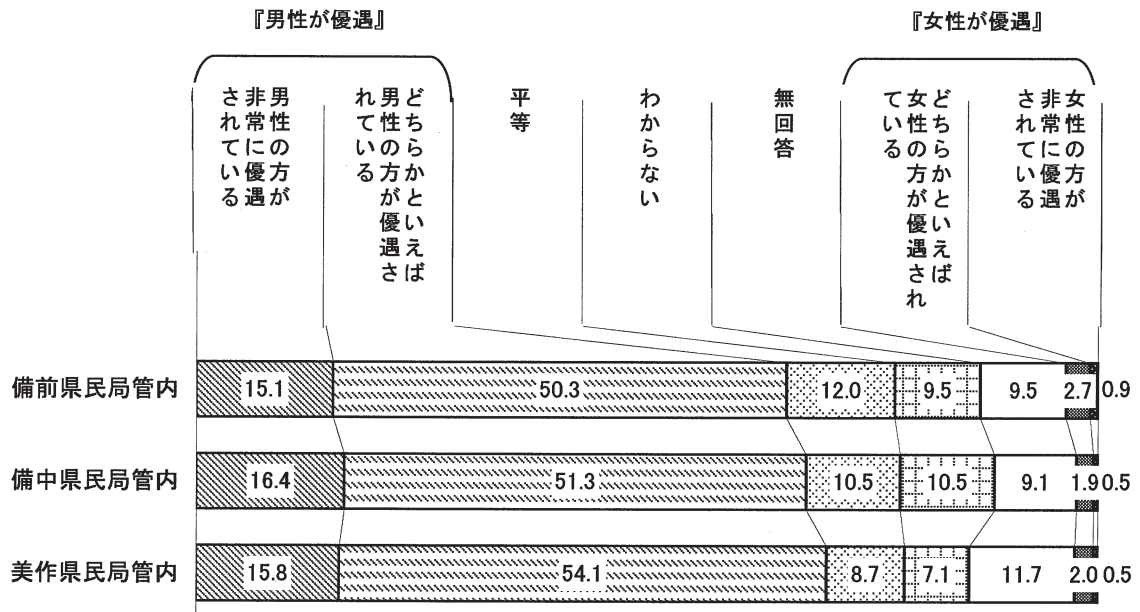
【図表5-7-1 社会通念・慣習・しきたりなどで(性別、性・年齢別)】



<地域別>

いずれの県民局管内も『男性が優遇』が6割を超えており、大きな差異はみられない。

【図表5-7-2 社会通念・慣習・しきたりなどで(地域別)】



<前回調査との比較>

H16年調査と比べると、『男性が優遇』は、77.7%から66.2%へと11.5ポイント低下した一方、「平等」は3.4ポイント上昇し、『女性が優遇』は、ほぼ横ばいとなっている。

【図表5-7-3 社会通念・慣習・しきたりなどで(前回調査との比較)】

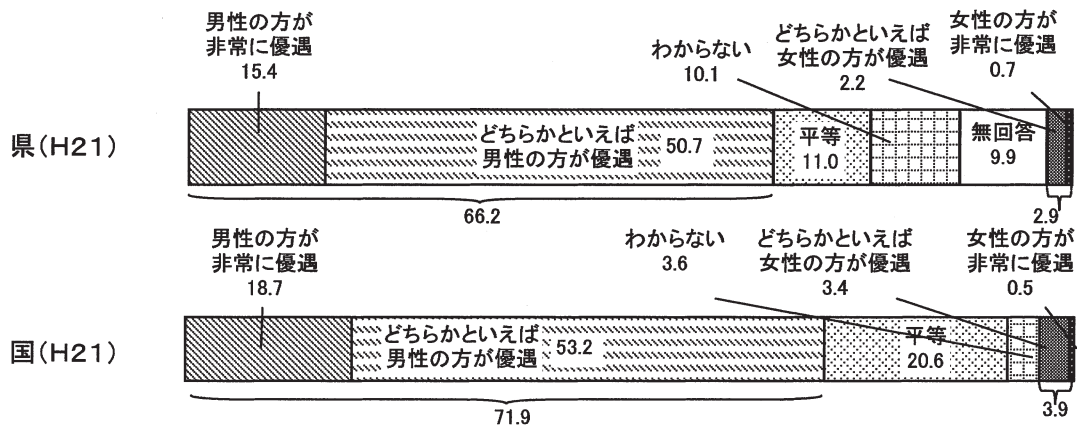
(単位:%)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	わからない	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	男性の方が優遇されている計	女性の方が優遇されている計
H12	26.9	50.1	8.8	9.5	1.5	0.4	77.0	1.9
H16	24.7	53.0	7.6	9.0	2.0	0.3	77.7	2.3
H21	15.4	50.7	11.0	10.1	2.2	0.7	66.2	2.9

<国調査との比較>

H21年の国の調査と比べると、国調査では、『男性が優遇』が71.9%で、県(H21)(66.2%)を5.7ポイント上回っており、「平等」も20.6%で、県(H21)(11.0%)を9.6ポイント上回っている。

【図表5-7-4 社会通念・慣習・しきたりなどで(国調査との比較)】



## ⑧「社会全体でみた場合」

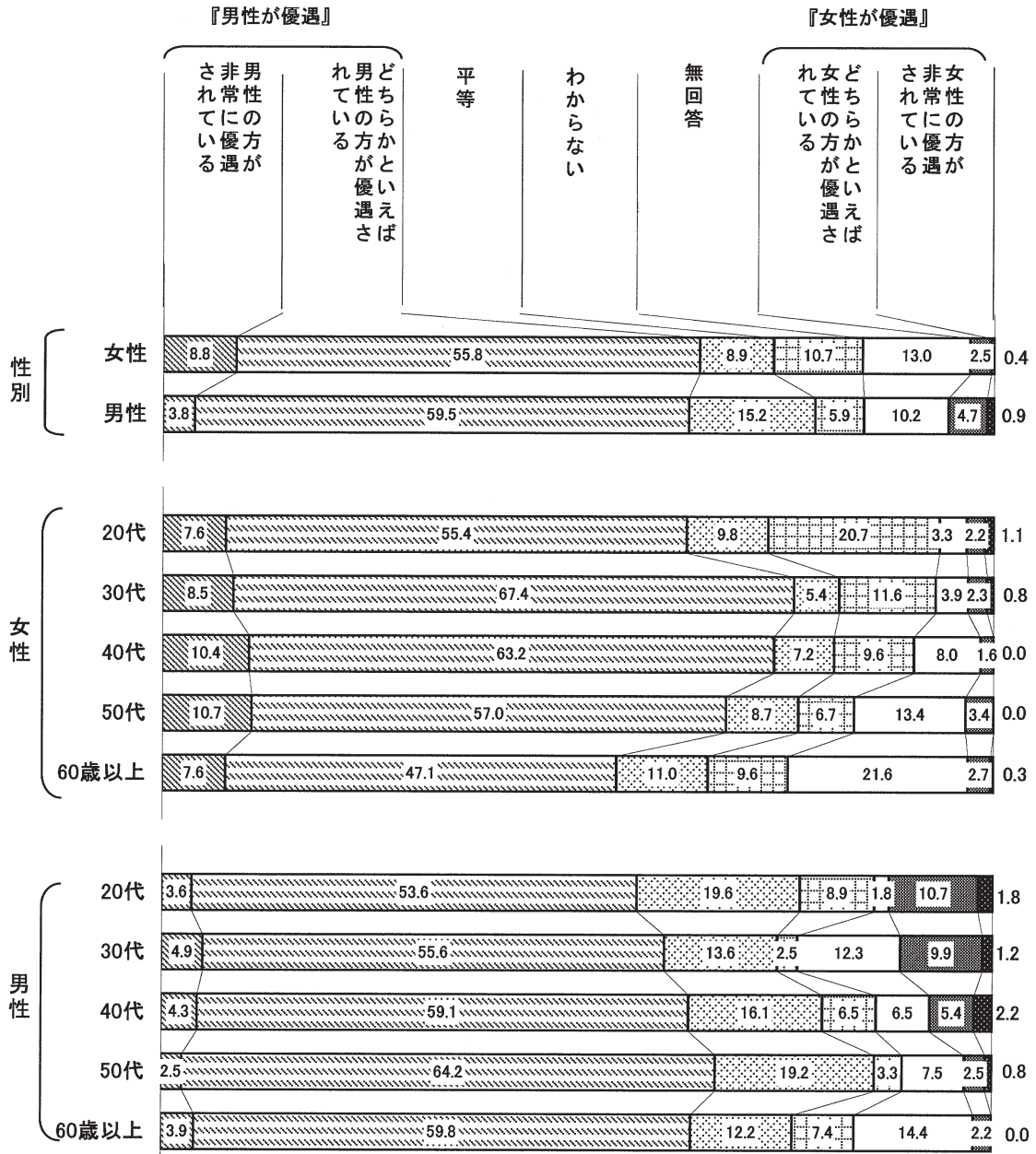
### <性別、性・年齢別>

男女ともに、『男性が優遇』が6割を超えている。女性では『男性が優遇』が64.6%で、男性の63.3%を1.3ポイント上回っている。

女性では30代をピークに年齢が上下するにつれ『男性が優遇』が低くなっている。

一方、男性では60歳以上を除き、年齢が上がるにつれて『男性が優遇』が高くなっている。

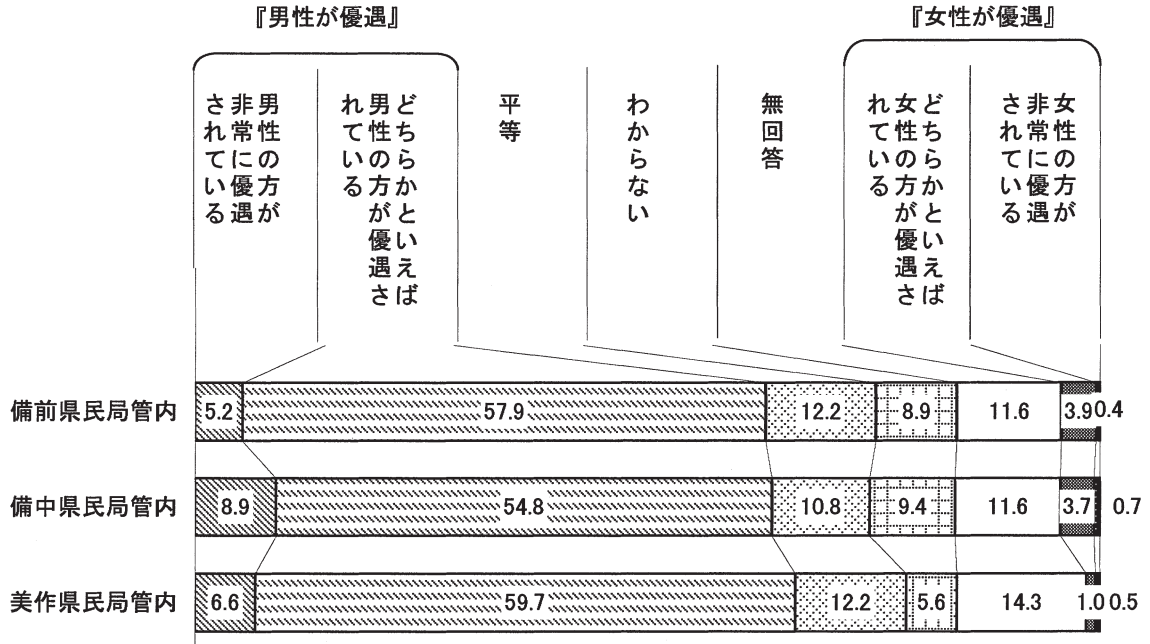
【図表5-8-1 社会全体でみた場合(性別、性・年齢別)】



<地域別>

いずれの県民局管内も『男性が優遇』が6割を超えており、大きな差異はみられない。

【図表5-8-2 社会全体でみた場合(地域別)】





<前回調査との比較>

H16年調査と比べると、『男性が優遇』は、80.4%から63.2%へと17.2ポイント低下した一方、「平等」は4.4ポイント上昇、『女性が優遇』はほぼ横ばいとなった。

【図表5-8-3 社会全体でみた場合(前回調査との比較)】

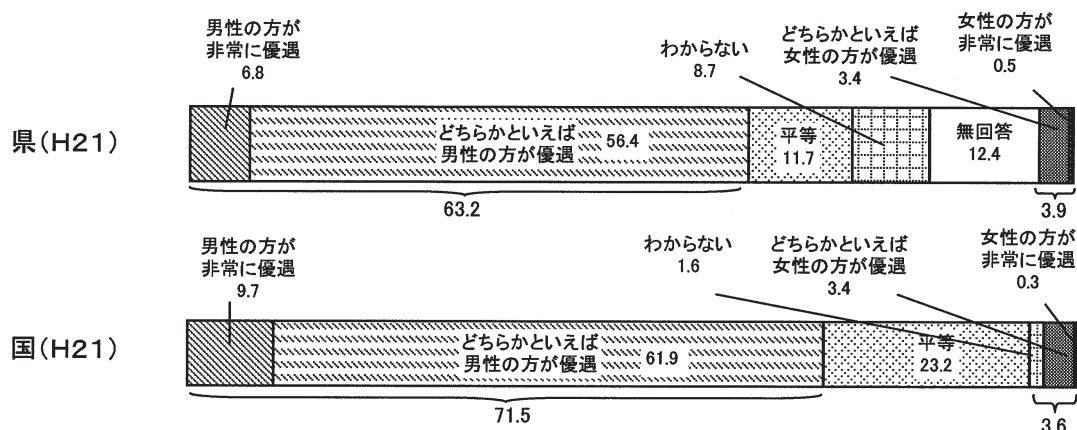
(単位:%)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	わからない	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	男性の方が優遇されている計	女性の方が優遇されている計
H16	17.9	62.5	7.3	5.8	3.5	0.3	80.4	3.8
H21	6.8	56.4	11.7	8.7	3.4	0.5	63.2	3.9

<国調査との比較>

H21年の国の調査と比べると、国調査では、『男性が優遇』が71.5%で、県(H21)(63.2%)を8.3ポイント上回っている一方、「平等」は23.2%で、県(H21)(11.7%)を11.5ポイント上回っている。

【図表5-8-4 社会全体でみた場合(国調査との比較)】

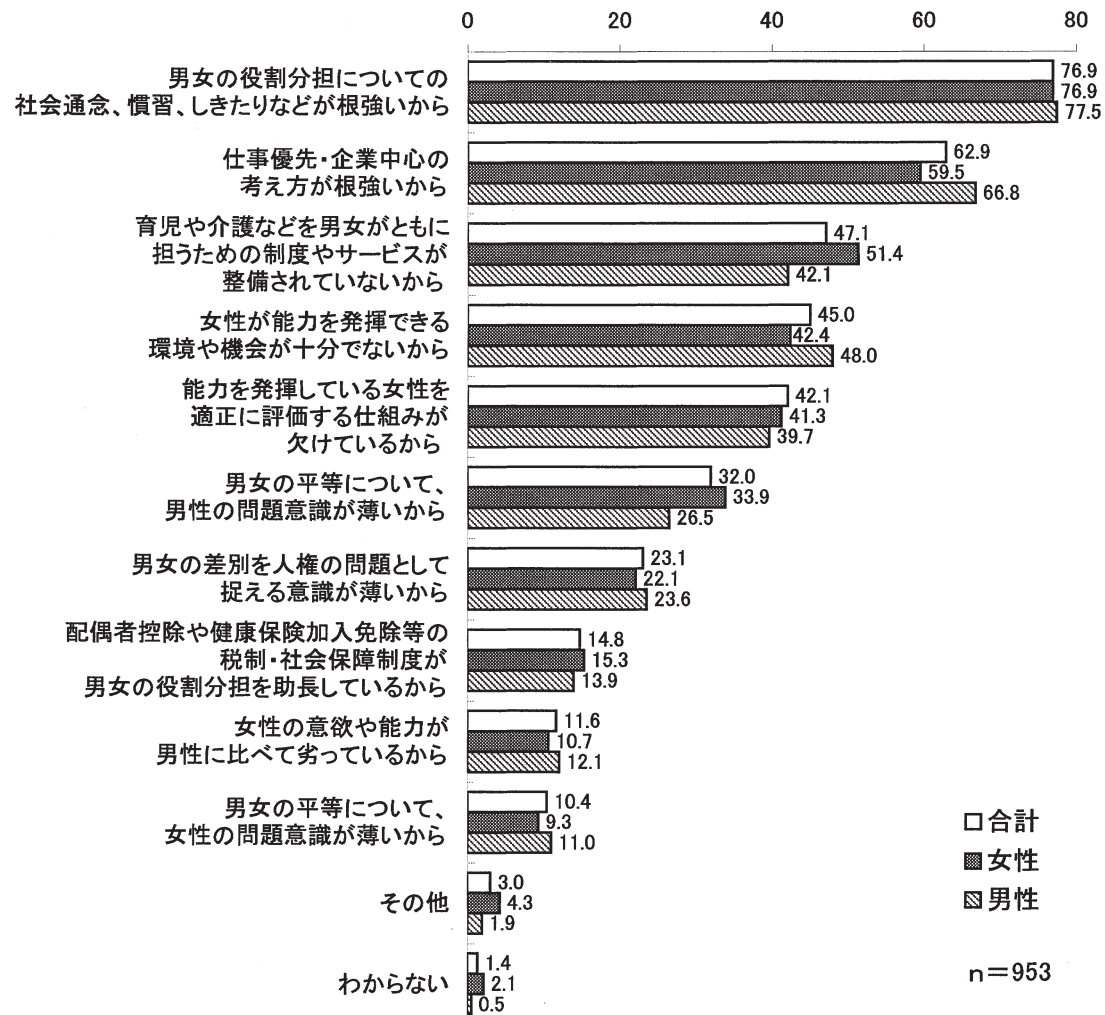


## (2) 男性の方が優遇されていると思う原因

問5の社会全体で見た場合で、「男性の方が非常に優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」のいずれかを答えた方のみお答えください。

問6 では、社会全体でみて男性の方が優遇されている原因は何だとお考えですか。次にあげた中で、あてはまるものをすべてお答えください。(○印はいくつでも)

【図表6-1 社会全体で男性の方が優遇されている原因】



### <性別、性・年齢別>

◆「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから」、「仕事優先・企業中心の考え方が根強いから」などが上位に

「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから」との回答が76.9%と最も多く、次いで「仕事優先・企業中心の考え方が根強いから」(62.9%)、「育児や介護などを男女がともに担うための制度やサービスが整備されていないから」(47.1%)、「女性が能力を発揮できる環境や機会が十分でないから」(45.0%)などの順となっている。

性別にみると、男女ともに「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから」が最も多くなっている。「育児や介護などを男女がともに担うための制度やサービスが整備されていないから」(女性：51.4%、男性：42.1%)、「男女の平等について、男性の問題意識が薄いから」(女性：33.9%、男性：26.5%)などは、女性が男性を大きく上回っている。反対に、「仕事優先・企業中心の考え方が根強いから」(女性：59.5%、男性：66.8%)、「女性が能力を発揮できる環境や機会が十分でないから」(女性：42.4%、男性：48.0%)などは、男性が女性を上回っている。

<性・年齢別>

女性はすべての年代で「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから」、「仕事優先・企業中心の考え方が根強いから」、「育児や介護などを男女がともに担うための制度やサービスが整備されていないから」の順になっている。

男性の40代は、「仕事優先・企業中心の考え方が根強いから」が最も多くになっているが、その他の年代では、全て「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから」が最多となっている。

また男性の20代では「能力を發揮している女性を適正に評価する仕組みが欠けているから」が5割を超え2位となっている。

【図表6-2 社会全体で男性の方が優遇されている原因(性・年齢別)】

(単位:%)

		1位		2位		3位	
女性	20代	男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから	67.2	仕事優先・企業中心の考え方が根強いから	48.3	育児や介護などを男女がともに担うための制度やサービスが整備されていないから	46.6
	30代	男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから	68.0	仕事優先・企業中心の考え方が根強いから	60.8	育児や介護などを男女がともに担うための制度やサービスが整備されていないから	49.5
	40代	男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから	79.3	仕事優先・企業中心の考え方が根強いから	69.6	育児や介護などを男女がともに担うための制度やサービスが整備されていないから	55.4
	50代	男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから	82.7	仕事優先・企業中心の考え方が根強いから	57.7	育児や介護などを男女がともに担うための制度やサービスが整備されていないから	47.1
	60歳以上	男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから	80.5	仕事優先・企業中心の考え方が根強いから	58.5	育児や介護などを男女がともに担うための制度やサービスが整備されていないから	54.9
男性	20代	男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから	66.7	能力を發揮している女性を適正に評価する仕組みが欠けているから	51.5	仕事優先・企業中心の考え方が根強いから	48.5
	30代	男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから	78.4	仕事優先・企業中心の考え方が根強いから	56.9	育児や介護などを男女がともに担うための制度やサービスが整備されていないから	54.9
	40代	仕事優先・企業中心の考え方が根強いから	79.7	男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから	76.3	女性が能力を發揮できる環境や機会が十分でないから	49.2
	50代	男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから	72.8	仕事優先・企業中心の考え方が根強いから	70.4	女性が能力を發揮できる環境や機会が十分でないから	48.1
	60歳以上	男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから	82.4	仕事優先・企業中心の考え方が根強いから	66.9	女性が能力を發揮できる環境や機会が十分でないから	51.4

<地域別>

すべての県民局管内で「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから」が7割を超えて最多で、「仕事優先・企業中心の考え方が根強いから」、「育児や介護などを男女がともに担うための制度やサービスが整備されていないから」の順となっている。

【図表6-3 社会全体で男性の方が優遇されている原因(地域別)】

(単位:%)

備前県民局管内		備中県民局管内		美作県民局管内	
1位	男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから 74.4	男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから 78.4	男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから 81.1		
2位	仕事優先・企業中心の考え方が根強いから 64.4	仕事優先・企業中心の考え方が根強いから 60.8	仕事優先・企業中心の考え方が根強いから 62.1		
3位	育児や介護などを男女がともに担うための制度やサービスが整備されていないから 48.7	育児や介護などを男女がともに担うための制度やサービスが整備されていないから 44.5	育児や介護などを男女がともに担うための制度やサービスが整備されていないから 47.0		

<前回調査との比較>

H16年調査と比べると、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから」が前回に引き続き最多となり、「仕事優先・企業中心の考え方が根強いから」が続いている。H16年に4位であった「育児や介護などを男女がともに担うための制度やサービスが整備されていないから」が3位に上がった。

【図表6-4 社会全体で男性の方が優遇されている原因(前回調査との比較)】

(単位:%)

	H21年	H16年
1位	男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから 76.9	男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりなどが根強いから 74.4
2位	仕事優先・企業中心の考え方が根強いから 62.9	仕事優先・企業中心の考え方が根強いから 56.5
3位	育児や介護などを男女がともに担うための制度やサービスが整備されていないから 47.1	女性が能力を発揮できる環境や機会が十分でないから 44.2